

〈特集〉

ホテル宴会・

パーティー―最前線

京王プラザホテル

ハイアットリージェンシー 東京

ホテルメトロポリタン

ホテルインターコンチネンタル 東京ベイ

東京ドームホテル

ウエスティンホテル東京

〈注目の新店〉

トゥーランドット 臥龍居

RISTORANTE YAGI

築地 ロ・スコリア





友田晶子の
気になる

日本酒

田んぼから生まれるもの
のみで造られる酒、「田酒」



「田酒 純米大吟醸」

小売価格 4,000円

販売店は、西田酒造HPにて掲載
<http://www.densyu.co.jp/>
(西田酒造店では、一般見学・販売は行っていません)

運よく震災被害が少なかったとい
う東北青森。名酒の多い青森県だが、
青森市には酒造メーカーはたった1
つしかない。日本酒ファンが最も好
きな銘柄としてかならずトップに挙
げるあの「田酒」の西田酒造店だ。

数日後にねぶた祭りというタイミ
ングに蔵にお邪魔した。ひっそりと
静まり返った夏の蔵の中を西田司社
長と歩きながら、米のこと、造りの
こと、祭りのこと、震災のこと、こ
れからのことなどをうかがった。

明治11年創業から造り続けている
ブランドは「喜久泉」。この酒を飲
む人々に幾久しく喜びが続くように

との願いをこめて命名された。「山
田錦」や「華吹雪」「華想い」とい
った地元米を使い、必要最低限の醸
造アルコールを使用した大吟醸、吟
醸、本醸造、糖類を一切使用しない
普通酒がラインナップされている。

「田酒」ブランドに着手したのは
昭和45年。清酒の消費量も出荷量も
ピークを迎えていた日本酒黄金時代
で、なんら工夫をせずとも今までど
おり造つていけば売れていた時代
でもある。そんなときに「たんに淡
麗で飲みやすいだけでない、しっか
りと旨味を感じる濃醇で飲みごたえ
ある米の酒を造り出す」ことを決意

した。その後、商品化できたのは実
に3年後だ。

「田酒」の由来は「酒の元になる
米がとれる田んぼ」から。「田酒」
ブランドとして数種ある銘柄はどれ
も、酒の源である田から生まれるも
ののみを使用した純米酒で、完全な
手造り仕込みと活性炭不使用で商品
になる。淡い山吹色に輝く色は本来
の日本酒そのものの色だ。香りには、
炊き立てのご飯のようなニュアンス
が。口に含めば、清らかで風格ある
米の旨味を感じる。10月末に発売さ
れた「田酒 純米大吟醸」はなかで
も通好みと評される逸品。その道の

プロに「酒の芸術品」と言わしめた。
冬の長い北国青森は雪に覆われた
暗く重い生活からときに爆発的なエ
ネルギーをもつ人やものを生み出す。
たとえば、版画の棟方志功、津軽三
味線の高橋竹山、作家の寺山に太宰
歌手の淡谷のり子に、最近では高見
盛岡もいる。凱旋の夏祭りである「ね
ぶた」の熱狂も、冬の間に降り積も
る雪と厚い冬の雲から生まれるのだ。
一見清らかな印象の田酒も盃を重
ねることに、その奥にあるふつつつ
と燃える魂みたいなものが感じられ
る。そのところがきつと日本酒好
きの心を揺さぶるのだと思う。